

【学会発表・招待講演など】

1. 加藤清・木村敏 (1958/10/25) 「LSD 実験精神病の精神病理学的研究(第 8 報)——知覚と運動の関連について」第 64 回近畿精神神経学会、京都大学精神科。『精神神経学雑誌』第 61 巻第 4 号、1959 年、618 頁。
2. 加藤清・笠原嘉・西山昭夫・田中愛昭・木村敏 (1961/4/13) 「離人症における疎隔体験とその時間構造」第 58 回日本精神神経学会総会、岡山大学。『精神神経学雑誌』第 63 巻第 4 号、1961 年、429 頁。
3. 木村敏・石田千鶴子・河合逸雄 (1965/4/22) 「トフラニール定式療法による抑うつ状態の治療経験」第 62 回日本精神神経学会総会、広島平和記念館。『精神神経学雑誌』第 67 巻第 3 号、1965 年、285~286 頁。
4. 木村敏 (1966/4/22) 「Präcoxgefühl の自覚論的考察」第 63 回日本精神神経学会総会、シンポジウム「精神分裂病の診断基準とくに“Präcoxgefühl”について」、東京国立教育会館。『精神神経学雑誌』第 68 巻第 2 号、1966 年、150~151 頁。
5. 木村敏 (1967/6/17) 「非定型精神病の臨床像と脳波所見の関連に関する縦断的考察」第 90 回近畿精神神経学会、和歌山農協会館。『精神神経学雑誌』第 69 巻第 7 号、1967 年、737~738 頁。
6. 村上仁・布施邦之・笠原嘉・藤縄昭・木村敏・藤田貞雄 (1968/3/27) 「新抗うつ剤 Chrorimipramine の臨床経験」第 65 回日本精神神経学会総会、長崎市公会堂。『精神神経学雑誌』第 70 巻第 2 号、1968 年、91 頁。
7. 木村敏 (1968) 「急性妄想状態に対する抗うつ剤 Istonil (Dimethacrin) の効果」第 93 回近畿精神神経学会、大阪医科大学。『精神神経学雑誌』第 70 巻第 11 号、1968 年、1076 頁。
8. Kimura, B. (1969/6/3): Über den Adoptiv-Wahn. Vortrag in der Psychiat. Klinik der Universität Erlangen.
9. Kimura, B. (1969/7/8): Psychiatrische Sonderprobleme in Japan. Vortrag in der Psychiat. Klinik der Univ. Göttingen.
10. Kimura, B. (1969/11/6): Der phänomenologische Weg in der transkulturellen Psychiatrie mit besonderer Berücksichtigung psychiatrischer Sonderprobleme in Japan. Vortrag in der Psychiat. Klinik der Univ. Basel.
11. Kimura, B. (1969/12/12): Zum Problem der Mitmenschlichkeit in transkultureller Sicht. Vortrag in der Psychiat. Klinik der Univ. Zürich.
12. Kimura, B. (1969/12/17): Zum Mitmenschlichkeitsproblem in transkulturell-phänomenologischer Sicht. Vortrag im Oststadtkrankenhaus Hannover.
13. Kimura, B. (1970/4/23): Über den Adoptionswahn. Vortrag in der Psychiat. Klinik der Univ. Münster.
14. Kimura, B. (1970/5/12): Zum Problem der Schizophrenie und der atypischen Psychosen.

- Vortrag in der Psychiat. Klinik der Univ. Mainz.
15. Kimura, B. (1970/5/22): Über den Herkunftsablehnungswahn. Vortrag auf dem Hausseminar der Psychiat. Klinik der Univ. Heidelberg.
  16. Kimura, B. (1970/10/24): Struktur des Selbstbewußtseins beim Japaner im Spiegel der sog. „Anthropophobien“. Kongreß der Deutschen Gesellschaft f. Psychiat. u. Nervenheilkunde, Bad Nauheim. *Zbl. ges. Neurol. Psychiat.* 201; 257–258, 1971.
  17. Kimura, B. (1971/12/1): Grundfragen der transkulturellen Psychiatrie. 5. Kongreß der WPA, Mexico City.
  18. 木村敏 (1972/6/17) 「医者と患者」名古屋市立大学医学会例会、名古屋市立大学病院。
  19. 木村敏 (1972/6/24) 「精神分裂病をめぐって」三重県精神科医会特別講演、津。
  20. Kimura, B. (1973/5/18): Comment and discussion to Huber. Kyoto conference of clinico-biological psychiatry. H. Mitsuda, T. Fukuda (ed.), *Biological Mechanisms of Schizophrenia and Schizophrenia-like Psychoses*. Igaku Shoin, Tokyo, 146–147, 1974.
  21. Kimura, B. (1973/7/6): Schizophrenie als Geschehen des Zwischenseins. Hausseminar der Psychiat. Klinik der Univ. Heidelberg.
  22. 木村敏 (1974/6/22) 「分裂病の現象学」岡山国際ホテル (『分裂病の現象学』、著作集 8)。
  23. 木村敏 (1974/8/30) 「精神病疾患体系の再検討」岩手県立南光病院。
  24. 木村敏 (1975/1/28) 「自然と自己」。『法曹なごや』第 27 号、20～37 頁。
  25. 木村敏 (1975/5/14) 「分裂病概念はいかにして可能か」第 72 回日本精神神経学会総会、シンポジウム「精神分裂病とはなにか (2)」、東京・国立教育会館。『精神神経学雑誌』第 78 巻第 4 号、1976 年、334～337 頁。
  26. 木村敏 (1975/6/7) 「分裂病の精神病理」静岡県西部精神科医会。
  27. 木村敏 (1975/7/1) 「分裂病の精神病理をめぐって」広島精神神経学会特別講演。
  28. 笠原嘉・木村敏 (1975/7/5) 「うつ病の臨床的分類試案」第 89 回東海精神神経学会。
  29. 木村敏 (1975/7/5) 「躁うつ病像を呈する個別化危機について」第 89 回東海精神神経学会。
  30. 木村敏 (1975/12/6) 「分裂病性および非分裂病性関係妄想の構造論差異」第 90 回東海精神神経学会。
  31. Kimura, B. (1975/9/26): Schizophrenes und nichtschizophrenes (paranoisches) Beeinflusungserlebnis. 1. Deutsch-Japanisch-österreichische Tagung für Psychopathologie. Graz.
  32. 木村敏 (1976/9/29) 「人間にとって私とはなにか」第 40 回日本心理学会特別講演、名古屋、中京大学。
  33. 木村敏 (1976/10/16) 「分裂病の人間学」第 1 回秋田大学医学祭特別講演。
  34. 木村敏 (1976/10/29) 「自己について——共通感覚の病理」名古屋市立大学医学祭講演。

35. 木村敏 (1977/11/24) 「「み」と「私」——共同主観的精神医学の構想」第 73 回日本精神神経学会総会、市川浩氏への指定討論、東京・品川公会堂。『精神神経学雑誌』第 80 巻第 5 号、1978 年、206~209 頁。
36. 木村敏 (1978/4/8) 「自然さについて」山口県精神科医会特別講演。
37. 木村敏 (1978/5/11) 「妄想について」愛知県精神科医会特別講演。
38. Kimura, B. (1978/7/21): Unterschiede und Gemeinsamkeiten in japanischer und deutscher Psychiatrie. Hausseminar der Psychiat. Klinik des Städt. Krankenhaus Bremen.
39. 木村敏 (1978/9/22) 「分裂病の現象学」佐賀県精神科医会特別講演。
40. Kimura, B. (1979/4/6): Phänomenologie des Zwischen. Hausseminar der Psychiat. Klinik der Univ. Marburg.
41. Kimura, B. (1979/4/9): Die Bedeutung der Atmosphäre für das Gespräch. 5. Zürcher Gespräch, Düsseldorf.
42. 木村敏 (1979/5/26) 「分裂病の精神病理」北海道精神病院協会特別講演、札幌。
43. 木村敏 (1979/12/8) 「「間」の病理としての精神分裂病」宮崎県精神科医会特別講演、宮崎。
44. 木村敏 (1980/2/23) 「単極鬱病と両極躁鬱病の精神病理」第 5 回精神医学セミナー、名古屋。
45. 木村敏 (1980/5/31) 「てんかんの人間学」三重大学精神科同門会特別講演、津。
46. 木村敏 (1980/6/14) 「「間」について」東三河精神科医会、豊橋。
47. 木村敏 (1980/11/18) 「青年期の問題と親子関係」三洋堂文化講演会。
48. 木村敏 (1980/11/28) 「精神病理学の意味」大阪大学精神科研究会
49. 木村敏 (1980/12/19) 「間と個人——現象学的精神医学の立場から」朝日ゼミナール「日本人と間」、東京。
50. 木村敏 (1981/7/17) 「ドイツ精神病理学の昨今」愛知県精神科医会 (シーボルト賞受賞記念講演会)、名古屋。
51. 木村敏 (1981/8/22) 「分裂病の精神病理」島根県精神科医会特別講演、松江。
52. 木村敏 (1981/9/18) 「あいだと時間の病理としての分裂病」精神病理懇話会・宝塚、シンポジウム「私にとって分裂病とは」。
53. Kimura, B. (1981/10/8): Zeit und Psychose. 2. Heidelberger Psychopathologie-Symposium.
54. Kimura, B. (1981/12/2): Die Begriffe Selbst und Natur in Fernosten und ihre Relevanz in der Schizophrenieforschung. Vortrag in der Psychiat. Klinik der Univ. Hannover.
55. Kimura, B. (1981/12/10): Zeit und Psychose. Vortrag in der Psychiat. Klinik der Univ. Münster.
56. Kimura, B. (1981/12/11): Zeit und Angst. 10. Zürcher Gespräch, Düsseldorf.
57. 木村敏 (1982/2/5) 「分裂病の精神病理」石川県精神医療研究会、金沢。

58. 木村敏 (1982/3/28) 「文化と精神医学」第2回社会精神医学会シンポジウム、浜松。
59. Kimura, B. (1982/6/9): Natur und Selbst. Vortrag im Institut für Mediz. Psychologie, Würzburg.
60. Kimura, B. (1983/7/14): Identität und Differenz als Momente des Selbst-seins. 7. Kongreß der WPA, Wien.
61. Kimura, B. (1983/8/15): "Aida" as a key concept for understanding the interpersonal relationships in Japanese culture. Japanese culture and mental health conference. Honolulu.
62. Kimura, B. (1983/10/29): Zeit und Angst. Symposium „Zeit. Gespräch zwischen Ost und West“. Kyoto.
63. Kimura, B. (1983/11/4): La schizophrénie comme la pathologie de la différence. Table ronde avec J. Derrida, Institut franco-japonais Tokyo.
64. 木村敏 (1984/1/28) 「他者の現象学」東京大学分院研究会。
65. 木村敏 (1984/6/9) 「現象学的精神病理学について」群馬県精神医学会特別講演、前橋。
66. 木村敏 (1984/7/13) 「現象学的精神病理学について」第8回大阪精神科懇話会講演、北野病院。『北野病院紀要』第30巻第1・2号、1985年、13~25頁。
67. 木村敏 (1984/9/10) 「精神医学における現象学の意味」愛媛県精神科研究会講演、松山。
68. 木村敏 (1984/10/16) 「直観的現象学と差異の問題」日本人間性心理学会シンポジウム「現象学からの提言」、名古屋。
69. Kimura, B. (1984/11/4): „Jibun“ (Selbst) als Begrenzung des Unbegrenzbaren-dargestellt an einem Borderline-Fall. 16. Zürcher Gespräch, Düsseldorf.
70. 木村敏 (1985/4/3) 「現代社会の人間関係」第36回逓信医学協会総会特別講演、名古屋。
71. Kimura, B. (1985/5/22): Über die transkulturelle Psychiatrie. Vortrag in der Klinik Salve Mater, Leuven.
72. Kimura, B. (1985/11/21): Zur Phänomenologie der sog. Borderline-Depression Festvortrag aus Anlaß der Verleihung des Dr. Margrit Egnér-Preises (第1回エグネール賞受賞講演). Aula der Universität Zürich.
73. 木村敏 (1986/3/14) 「人間学的精神医学におけるてんかん」第13回日本精神病院協会精神医学会特別講演、名古屋。『日本精神病院協会雑誌』第5巻第6号、37~39頁。
74. 木村敏 (1986/6/14) 「人間学的精神医学の問題点」鹿児島県精神科医会特別講演、鹿児島。
75. 木村敏 (1986/9/20) 「内省と自己の病理」日独シンポジウム「自己——精神医学と哲学の観点から」、河合文化教育研究所、名古屋。
76. 木村敏 (1986/10/16) 「分裂病の人間学」秋田大学医学部。

77. 木村敏 (1986/10/18) 「現代社会の病理——内面的自然の破壊」京都大学市民講座講演「生と死」、京都大学。『京大広報』第 322 号。
78. 木村敏 (1986/11/7) 「現代フランス哲学と分裂病」弘前大学精神科。
79. 木村敏 (1986/11/28) 「「自己」をめぐる諸問題」龍谷大学。『龍谷哲学』第 14 号、1987 年、1~22 頁。
80. 木村敏 (1986/11/30) 「自己と自己のあいだ」大谷専修学院。
81. 木村敏 (1987/6/6) 「精神医学における自己の問題」西田・田辺記念会、京都大学文学部。
82. Kimura, B. (1987/8/11): *Between onozukara and mizukara. Religion and Healing Dialogue*, Berkeley, California.
83. 木村敏 (1987/11/27) 「個人の病と関係の病」飛騨臨床医会講演、高山。
84. 木村敏 (1987/12/5) 「非定型精神病の人間学的類型化」大分県精神科医会特別講演、別府。
85. 木村敏 (1988/1/14) 「人間関係の病」大阪家庭裁判所。
86. Kimura, B. (1988/3/8): *Self and Nature. An interpretation of schizophrenia (分裂病における自己と自然)*. 6<sup>th</sup> The Kyoto Zen Symposium (第 6 回京都国際禅シンポジウム), Kyoto.
87. Kimura, B. (1988/10/10): *Die Bedeutung der Sprache in der psychotherapeutischen Ausbildung*. 14. Int. Kongreß f. ärztl. Psychother. Lausanne.
88. Kimura, B. (1988/10/19): *La réflexion et l'enjeu du soi-même chez le schizophrène*. Hôpital Vinatier, Lyon.
89. 木村敏 (1988/11/9) 「「あいだ」の生理と病理」山形精神病理研究会講演、山形。
90. 木村敏 (1988) 「精神医学の中の男性と女性」第 4 回国際文化フォーラム、日独文化研究所。
91. 木村敏 (1989/4/20) 「てんかんの人間学」熊本てんかん懇話会講演、熊本。
92. 木村敏 (1989/4/21) 「分裂病の精神病理」熊本家族療法研究会講演、熊本。
93. Kimura, B. (1989/9/18): *Signification et limite du langage dans la formation psychothérapeutique*. Colloque sur “psychiatrie et existence”. Centre Culturel International de Cerisy-la-Salle.
94. Kimura, B. (1989/9/22): *Sich-finden im Handeln. Ein Ansatz zur Frage nach schizophrenen Ichstörungen*. Symposium „Intentionalität-Interdisziplinär“. Psychiat. Klinik der Univ. Marburg.
95. Kimura, B. (1989/10/15): *Handeln und Sehen in der existenzphänomenologischen Psychiatrie*. WPA, Athen.
96. Kimura, B. (1989/11/7): *Psychopathologie des Aida oder der Zwischenmenschlichkeit*. Vortrag in der Aula der Universität Basel.

97. 木村敏 (1990/1/20) 「分裂病の精神病理をめぐって」北九州精神科懇話会特別講演、小倉。
98. 木村敏 (1990/3/7) 「分裂病における他者の問題」長崎県精神科講演会、長崎。
99. 木村敏 (1990/7/21) 「分裂病の詩と真実」国際シンポジウム「ラカン理論と臨床の深化」、京都。
100. 木村敏 (1991/7/9) 「分裂病における自明性の喪失」佐賀精神科集談会講演、唐津。
101. 木村敏 (1991/9/11) 「コギトと自己」国際高等研究所シンポジウム「文化の翻訳可能性」公開講演、京都。
102. Kimura, B. (1991/10/9): Sich-finden im Handeln. Vortrag im Institut für Med. Psychol. In Würzburg.
103. Kimura, B. (1991/10/11): Der Umgang mit dem Schizophrenen in ästhesiologischer Sicht. Referat auf dem Jubiläums-Symposium zum 100. Geburtstag von E. Straus. Heidelberg.
104. 木村敏 (1991/10/3) 「コギトと自己」筑波大学比較文化学類講演、つくば。
105. 木村敏 (1991/11/2) 「自然と自己——みずからとおのずから」第9回森田療法学会特別講演、京都。『森田療法学会雑誌』第3巻第1号、1992年、45～48頁。
106. 木村敏 (1991/11/16) 「自然な自明性の喪失をめぐって」東京女子医大精神科ハウスセミナー。
107. Kimura, B. (1992/5/4): Psychopathologie der Zufälligkeit oder Verlust des Aufenthaltsortes beim Schizophrenen. Vortrag in der Psychiat. Klinik der Univ. Marburg.
108. Kimura, B. (1992/5/4): Psychopathologie der Zufälligkeit oder Verlust des Aufenthaltsortes beim Schizophrenen. Vortrag in d. Sozialpsychiat. Klinik der Univ. Bern.
109. 木村敏 (1992/6/9) 「居場所について」Anywhere Conference、湯布院。
110. 木村敏 (1992/7/11) 「分裂病の精神病理——タイミングと自己」兵庫県精神病院協会研修会、神戸。
111. Kimura, B. (1992/9/27): Mögliche Beiträge des japanischen Denkens zur phänomenologischen Psychopathologie. Deutsch-Japanisches Symposium der Deutschen Gesellschaft für Psychiatrie und Nervenheilkunde. Köln.
112. 木村敏 (1992/10/2) 「偶然性の精神病理」第15回日本精神病理学会、岐阜。
113. 木村敏 (1992/11/19) 「偶然性の精神病理」京大基礎物理学研究所シンポジウム「生物システムにおける機能の自己組織過程と自己崩壊過程」招待講演、京都。
114. 木村敏 (1993/2/10) 「時間の間主観性」神戸大学理学部地球科学研究所招待講演、神戸。
115. 木村敏 (1993/3/26) 「共通感覚とその病理」三重県精神科医会特別講演、津。
116. 木村敏 (1993/7/31) 「共通感覚とその病理」石川県精神科医会特別講演、金沢。
117. 木村敏 (1993/9/30) 「「自己」の病理を求めて——回顧と展望」第16回日本精神

病理学会特別講演、京都。

118. 木村敏 (1993/10/3) 「自然さと不自然さ」日独文化研究所シンポジウム「自然」、京都。
119. 木村敏 (1993/10/28) 「精神病理学の現状と課題」日本精神病院協会研修会、京都。
120. 木村敏 (1993/11/17) 「コモンセンスの病理」第 4 回静岡県中部精神科医会特別講演、静岡。
121. 木村敏 (1994/3/18) 「文化と精神医学——人間学的精神病理学の観点から」第 14 回日本社会精神医学会、山形。
122. 木村敏 (1994/7/7) 「分裂病論の新しいパラダイムを求めて」第 5 回横浜分裂病研究会。
123. Kimura, B. (1994/10/17): Zum Problem der Leib-Seele-Korrelation und der privaten Intersubjektivität. Vortrag auf dem Hausseminar der Psychiat. Klinik der Univ. Heidelberg.
124. 木村敏 (1994/11/8) 「人間関係の病理」島根医大学生講義、出雲市。
125. 木村敏 (1995/1/12) 「自己の病理」姫路独協大学講演会、姫路。
126. 木村敏 (1995/1/14) 「表と裏の病理」武庫川女子大学生活美学研究所講演会、西宮。『武庫川女子大学生活美学研究所紀要』第 5 号、41~47 頁。
127. 木村敏 (1995/5/19) 「生の現象学——心身二元論の止揚へ向けて」第 91 回日本精神神経学会総会シンポジウム「精神病理学と生物学的精神医学の接点 3——二元論の止揚は可能か」、長崎市公会堂。
128. 木村敏 (1995/5/25) 「心身相関と間主観性」大谷学会春期公開講演会、大谷大学講堂。『大谷学報』第 75 巻第 3 号、48~55 頁。
129. 木村敏 (1995/6/3) 「心身相関と間主観性」北海道精神病理研究会第 17 回例会、網走。
130. 木村敏 (1995/9/2) 「「私的」なところと自己の病理」第 5 回知能ロボット研究会、けいはんなプラザ。
131. 木村敏 (1995/9/9) 「コモン・センスの病理」第 10 回道東精神科医会学術講演会、北見東急インホテル。
132. 木村敏 (1995/10/13) 「人間関係と主体性」名城大学商学会、名古屋。
133. 木村敏 (1995/10/14) 「ゲシュタルトクライスについて」認知科学会、東京。
134. 木村敏 (1995/10/29) 「関係の精神病理学——精神分裂病をめぐる」滋賀医科大学学園祭。
135. 木村敏 (1995/11/18) 「医学的人間学から人間学的精神医学へ」日独シンポジウム「医学における人間」、名古屋河合文化教育研究所。
136. 木村敏 (1995/12/2) 「心身相関と間主観性」鹿児島県医師会精神科医部会研修会、城山観光ホテル。『九州神経精神医学』第 42 巻第 1 号、60 頁。

137. 木村敏 (1995/12/14) 「音楽演奏の現象学」国際高等研究所レクチャーサロン、芝蘭会館。
138. 木村敏 (1995/12/19) 「人間関係の病理」島根医大学生講義。
139. 木村敏 (1996/2/23) 「心身相関と対人関係——生命論の観点から」Humanistic Science 研究会。『Humanistic Science』第2巻第2号、2～7頁。
140. Kimura, B. (1996/3/1): Interpersonality and Mind-Body-Correlation. Subjective Behavior of Organism. Plenary Session of the First International Conference on Philosophy & Mental Health. Hotel Triton, Benalmadena, Spain.
141. Kimura, B. (1996/9/24): Leib, Seele und Intersubjektivität. Vortrag an der Sozialpsychiatrische Abteilung der Freien Universität Berlin.
142. Kimura, B. (1996/9/27): Leben und Tod in der anthropologischen Medizin. Japanisch-Deutsches Symposium „Medizin in der japanischen und europäischen Kultur“. Japanisch-Deutsches Zentrum Berlin.
143. 木村敏 (1996/10/26) 「身心相関と間主観性」国際シンポジウム「医学的人間学」、河合塾名駅キャンパス 16号館サクセスホール。
144. 木村敏 (1996/11/2) 「人間学的医学における生と死」国際シンポジウム「医学的人間学」、東京ドイツ文化会館ホール。
145. 木村敏 (1997/1/10) 「主体について」島根医大特別講義。
146. 木村敏 (1997/5/30) 「操作診断の問題点——人間学的精神医学の立場から」第93回日本精神神経学会総会ディベート「精神医学の対立点〈操作診断の功罪〉」、東京国際フォーラム。
147. 木村敏 (1997/4/30) 「対人恐怖をめぐって」慈恵医大第三病院。『森田療法室紀要』第19号、2～8頁。
148. 木村敏 (1997/12/5) 「(1) 常識について」「(2) 分裂病の精神病理」島根医大特別講義。
149. 木村敏 (1998/2/14) 「常識について」第7回大阪精神病院協会・大阪精神神経科診療所協会合同学術講演会、東洋ホテル。
150. Kimura, B. (1998/2/4): Sinn und Geschichtlichkeit. Im Spiegel der wahnhaften Herkunftverleugnung. Symposium „übersetzen – ein Grundphänomen des Lebens“. Ekô-Haus der japanischen Kultur, Düsseldorf.
151. 木村敏 (1998/4/4) 「日本人の精神構造とその病理」Ekô-Haus der Japanischen Kultur, Düsseldorf.
152. 木村敏 (1998/6/26) 「日本人の精神構造」帝塚山学院大学人間文化学部講義。
153. 木村敏 (1998/7/1) 「精神医学とニューロサイエンス」東京都精神医学総合研究所開設25周年記念シンポジウム特別講演、アルカディア市ヶ谷。
154. 木村敏 (1998/7/11) 「日本人の精神構造」龍谷講座、龍谷大学。

155. 木村敏 (1998/7/18) 「対人恐怖と日本的心性——私的存在と公共的存在の交錯」京都フォーラム第3回公共哲学研究会、京都リーガ・ロイヤル・ホテル。
156. 木村敏 (1998/8/26) 「精神の健康とは何か——常識について」メンタルヘルス研究所記念大会特別講演、ホテル・ラングウッド、東京。
157. 木村敏 (1998/12/4) 「主体について」島根医大1年生講義。
158. 木村敏 (1998/12/6) 「リアリティとアクチュアリティ——臨床の現場感覚について」京大病院総合診療部同門会特別講演、都ホテル。
159. 木村敏 (1999/5/8) 「臨床精神医学における自覚的現象学——非定型精神病の理解をめぐる」九州精神神経科診療所協会総会特別講演、博多東急ホテル。
160. Kimura, B. (1999/6/11): Bemerkungen zur Psychopathologie heute in Japan und Deutschland unter besondere Berücksichtigung der Medizinischen Anthropologie Viktor von Weizsäckers (今日の日本とドイツの精神病理学——ヴィクトーア・フォン・ヴァイツゼッカーの医学的人間学の観点から). DAAD アルムニ・セミナー. 京都国際会議場. Blaue Blätter 5, Mitteilungen der DAAD-Außenstelle Tokyo.
161. 木村敏 (1999/7/9) 「からだところ」兵庫県立看護大学講義。
162. 木村敏 (1999/7/31) 「こころの医学の可能性」21世紀医学フォーラム・京都「こころを医学する」基調講演、国立京都国際会館・アネックス。岡本道雄・井村裕夫編『こころを医学する』岩波書店、2004年、66～82頁。
163. 木村敏 (1999/10/7) 「時間の人称性」'99林原フォーラム「時間と時」岡山国際交流センター。
164. 木村敏 (1999/10/10) 「自己の現象学——人間学的精神病理学の立場から」日本人間性心理学会第18回大会公開講演、京都文教大学。
165. Kimura, B. (1999/10/18): Kokoro und mono aus der Sicht eines japanischen Psychiaters. Hausseminar an der Psychotherapeutischen Klinik der Univ. Ulm (Prof. Dr. Kächele).
166. Kimura, B. (1999/10/22): 精神医学から見た心と物. Kokoro und mono aus der Sicht eines japanischen Psychiaters. Redebeitrag für das Symposium „östliches und westliches Verständnis von ‚Geist und Materie‘ Paradigma eines neuen Wissens“. 5. Symposium der Reihe „Der Osten – der Westen“ von 20. bis 22. Oktober, 1999, Japanisch-Deutsches Zentrum Berlin.
167. 木村敏 (2000/5/12) 「日本精神病理学会——回顧と展望」第96回日本精神神経学会総会、仙台国際センター。
168. 木村敏 (2000/8/23) 「精神病理学と私」滋賀里病院創立45周年記念講演、滋賀里病院。
169. 木村敏 (2000/11/18) 「音と音の間」京大音研五〇周年記念講演会・演奏会、京都コンピュータ学院京都駅前校。

170. 木村敏 (2001/9/15) 「病いと人——医学的人間学について」第 14 回日本口腔・咽喉科学会特別講演、北トピア、東京・王子。
171. 木村敏 (2001/10/4) 「自分であるとはどのようなことか——自己性と他者性の精神病理学のために」第 24 回日本精神病理学会特別講演、名古屋大学豊田講堂。
172. 木村敏・Philippe Nys・田路貴浩 (2001/10/27) 「環境とあいだ」連続セミナー「環境の解釈学」、明治大学国際交流センター。
173. 木村敏 (2001/11/14) 「翻訳文化の非喜劇」第 28 回ホメオ京都講演、電通京都支社。
174. 木村敏 (2001/11/24) 「個別性のジレンマ」第 2 回河合臨床哲学シンポジウム「臨床哲学の可能性——木村敏著作集刊行を記念して」、愛知芸術文化センター。
175. 木村敏 (2001/12/19) 「〈生命論的差異〉の重み」第 3 回土井道子記念京都哲学基金シンポジウム、京都ガーデンパレスホテル。
176. 木村敏 (2002/2/9) 「精神科医の見た日本人の精神構造」2002 年冬季日本アスペン・エグゼクティブ・セミナー、かずさアカデミアホール。
177. 木村敏 (2002/2/23) 「〈あいだ〉と言葉——精神科臨床の現場から」国際高等研究所研究プロジェクト「臨床哲学の可能性」第 15 回研究会、国際高等研究所。
178. 木村敏 (2002/4/27) 「精神科医の見た日本人」大学婦人協会京都支部総会、ハートンホテル。
179. 木村敏 (2002/6/14) 「「生命論的差異」について」京都文教大学大学院講義。
180. Kimura, B. (2002/8/27): Disturbance of Timing and Selfhood in Schizophrenia. XII World Congress of Psychiatry, Pacifico Yokohama.
181. Kimura, B. (2002/8/31): Toward a First-person Psychopathology. Philosophical Thinking and Psychiatric Practice—Post World Congress meeting on philosophy and psychiatry. Sanjo-Kaikan, Tokyo University.
182. 木村敏 (2002/10/12) 「運動と心」日本体育学会第 53 回大会特別講演、埼玉大学。
183. Kimura, B. (2002/8/31): Realität und Aktualität. Erinnerungen an Heidegger und Boss. Internationales Symposium „Zwischen Philosophie, Medizin und Psychologie. Heidegger im Dialog mit Medard Boss“. Martin-Luther-Universität Halle-Wittenberg, Institut für Philosophie. 18.–20. Oktober 2002, Halle, Melanchthonianum.
184. 木村敏 (2003/1/26) 「現象学的時間論の観点からみた非定型精神病の臨床分類」日本外来臨床精神医学会設立総会記念講演、東京商工会議所国際ホール。
185. 木村敏 (2003/2/15) 「精神病理学と西田哲学」西田哲学会発起人会レクチャー、京大会館。
186. 木村敏 (2003/2/22) 「〈あいだ〉と言葉」上越教育大学。
187. 木村敏 (2003/6/28) 「一人称の精神病理学へ向けて」第 3 回河合臨床哲学シンポジウム「交錯する自己——ブランケンブルク追悼記念」、東洋大学。

188. 深尾憲二郎・木村敏 (2003/7/24) 「心脳相関の一人称現象学」第 26 回日本神経科学大会シンポジウム、名古屋国際会議場。
189. 木村敏 (2003/8/22) 「生命論的差異と主観性」研究会「計算の哲学」、ペアーレ京都。
190. 木村敏 (2003/9/20) 「医学への主観の導入——ヴァイツゼッカーの医学的人間学について」第 14 回近畿リウマチ病研究会特別講演、都ホテル大阪。
191. 木村敏 (2003/12/10) 「西田哲学と精神病理学」立命館大学末川記念館。
192. 木村敏 (2004/2/11) 「統合失調症の精神病理——経験から理論へ」クエチアピン研究会特別講演、皇居前パレスホテル、東京。
193. 木村敏 (2004/2/18~3/3) 日独文化研究所哲学講座「臨床哲学としての精神病理学」全 3 回。
194. 木村敏 (2004/4/21) 「統合失調症と今西進化論」京大精神科。
195. 木村敏 (2004/4/24) 「あいだ、間、そして自己」第 1 回日本語臨床研究会特別講演、上智大学。
196. Kimura, B. (2004/9/26): On Future. Plenary lecture on the 7<sup>th</sup> International Conference on Philosophy, Psychiatry and Psychology. University of Heidelberg.
197. 木村敏 (2004/10/7) 「「もの」の現実と「こと」の現実」ヒューマンインタフェースシンポジウム 2004 特別講演、京都リサーチパーク。
198. 木村敏 (2004/10/27) 「精神病理学から見た日本人の精神構造」相愛大学特別講義。
199. 木村敏 (2004/10/27) 「ハイデガー哲学と精神病理学」日独文化研究所哲学講座。
200. 木村敏 (2004/11/24) 「西田哲学と精神病理学」日独文化研究所哲学講座。
201. 木村敏 (2004/12/6) 「自他の逆対応」土井道子記念京都哲学基金シンポジウム、ガーデンパレス。
202. 木村敏 (2005/1/21) 「うつ病あれこれ」第 10 回うつ病の薬物療法フォーラム、アピオ本館、甲府。
203. 木村敏 (2005/2/2) 「音楽と私」京都音楽家クラブ講演、ブライトンホテル。
204. 木村敏 (2005/5/28) 「精神医学から見た異常と正常」総合人間学研究会第 16 回研究会、専修大学。
205. 木村敏 (2005/7/2) 「うつ病あれこれ」外来精神療法の会、岐阜グランドホテル。
206. 木村敏 (2005/7/28) 「統合失調症の精神病理——経験から理論へ」愛知県精神科医会学術講演会、ホテルグランコート名古屋。
207. 木村敏 (2005/8/26) 「自然と自己」静岡県高等学校国語教育研究会設立総会特別講演、静岡県女性総合センター「アザレア」。
208. 木村敏 (2005/10/22) 「じこ・あいだ・いのち」三重大学教育学部附属教育英践総合センター文化講演会、三重大学講堂三翠ホール、津。

209. 木村敏 (2006/8/26) 「精神医学と私」京都精神科医会。
210. 木村敏 (2006/11/4) 「自己——その内在と超越」日本人間性心理学会第 25 回大会シンポジウム、愛知学院大学。
211. 木村敏 (2006 年 11 月 11 日) 「自己・生命・時間」日独文化研究所第 16 回公開シンポジウム「生命の時間」、京都市勧業館。
212. 木村敏 (2006/12/9) 「物語としての生活史」第 6 回河合臨床哲学シンポジウム「〈かたり〉の虚と実」、東京国立博物館・平成館大講堂。
213. Kimura, B. (2007/4/29): Das Zwischen als Grundlage der phänomenologischen Methode in der psychiatrisch-psychotherapeutischen Praxis. Tagung der Internationalen Gesellschaft für Logotherapie und Existenzanalyse. Medizinische Universitätsklinik, Allgemeines Krankenhaus, Hörsaal-Zentrum, Wien.
214. 木村敏 (2007/5/18) 「超越としての自己性——統合失調症の臨床から」甲南大学人間科学研究所第 41 回研究会、甲南大学 18 号館。
215. 木村敏 (2007/6/9) 「精神科医として西田哲学から学んだこと——個人と経験」第 63 回寸心忌記念講演、石川県西田幾多郎記念哲学館。
216. 木村敏 (2007/7/22) 「差異としての超越」甲南大学人間科学研究所「心の危機と臨床の知」第 8 回公開シンポジウム「心理療法と超越性——神話的時間と宗教性をめぐって」、甲南大学 5 号館 (『心の危機と臨床の知』第 9 巻、甲南大学人間科学研究所、2008 年、21~26 頁)。
217. 木村敏 (2007/11/19) 「「心の病」とは何か」日独文化研究所平成 19 年度賛助会員年次総会、クラブ関西。
218. 木村敏 (2007/11/29) 「生命と自己——統合失調症の精神病理から」第 2 回横幹連合コンファレンス、京都大学 100 周年時計台記念館。
219. Kimura, B. (2008/10/31): Was heißt es, psychisch krank zu sein? Eine phänomenologische Erörterung von schizophrenen Psychosen. 5. Wissenschaftliches Symposium der Deutsch-Japanischen Gesellschaft für integrative Wissenschaft. Festsaal der Universität Bonn.
220. 木村敏 (2009/2/6) 「精神医学と私」愛知医科大学新春学術講演会、ホテルキャッスルプラザ。
221. 木村敏 (2009/2/8) 「自己意識と身体」今村源自刻像ワークショップ、枚方市御殿山生涯学習美術センター。
222. 木村敏 (2009/6/6) 「生命・身体・自己」西田田辺記念講演会、京大総合人間学部。
223. 木村敏 (2009/10/22) 「〈あいだ〉としての文化——文化と文化の〈あいだ〉」立命館大学間文化現象学研究センター設立記念講演会、立命館大学末川記念会館。
224. 木村敏 (2009/11/18) 「内因性メランコリーの精神病理」第 7 回茨城県精神病理研究会、ホテル・テラス・ザ・ガーデン水戸。

225. 木村敏 (2010/2/6) 「統合失調症の精神病理——中動態的自己の不成立」第 12 回新潟サイコセラピー研究会、ホテルニューオータニ長岡。
226. 木村敏 (2010/2/10~3/31) 「臨床哲学の諸問題」(2月10日「精神病理学と哲学——序論、生命と心」、2月17日「統合失調症の精神病理 1 自他関係の病理」、3月10日「統合失調症の精神病理 2 アンテ・フェストゥムの時間性」、3月17日「内因性鬱病の精神病理 1 内因の問題、性格と状況」、3月24日「内因性鬱病の精神病理 2 ポスト・フェストゥムの時間性」、3月31日「癲癇の精神病理 イントラ・フェストゥムの時間性」)、日独文化研究所哲学講座。
227. 木村敏 (2010/5/22) 「精神医学における間主観的意識の回復に向けて」第 106 回日本精神神経学会学術総会「先達に聞く」、広島国際会議場。
228. 木村敏 (2010/10/8) 「中動態的自己の病理」第 33 回日本精神病理・精神療学会特別講演、東洋大学。
229. 木村敏 (2010/12/1) 「自分が自分であるということ」第 10 回河合臨床哲学シンポジウム、東京大学鉄門記念講堂。
230. 木村敏 (2011/3/12) 「精神医学から臨床哲学へ」Abilify Royal Meeting 特別講演、リーガロイヤル堺。
231. 木村敏 (2011/5/29) 「〈あいだ〉の臨床哲学」木村敏 80 歳記念シンポジウム、芝蘭会稲盛ホール。
232. 木村敏 (2011/8/28) 「精神医学から臨床哲学へ」Astellas CNS Symposium 招待講演、ヒルトン福岡シーホーク。
233. 木村敏 (2012/4/22) 「〈あいだ〉の現象学」阪本病院「精神病理学を考える研修セミナー」、大阪新阪急ホテル。
234. 木村敏 (2012/6/24) 「統合失調症の精神病理と進化論」乙訓医師会文化講演会、からすま京都ホテル。
235. 木村敏 (2012/7/21) 「西田哲学と私の精神病理学」西田哲学会第 10 回年次大会公開講演、京都産業大学・神山ホール。
236. 木村敏 (2012/11/16) 「精神医学から臨床哲学へ」富山県精神科医会、ANA クラウンプラザホテル富山。
237. 木村敏 (2012/12/16) 「臨床と哲学」第 12 回河合臨床哲学シンポジウム、東京大学鉄門記念講堂。
238. 木村敏 (2013/7/6) 「名市大精神科の思い出——現象学的精神病理学の全盛期」第 2 回桜山精神医学セミナー、名市大精神科同門会、名古屋マリオットアソシアホテル。
239. 木村敏 (2013/12/1) 「精神医学と哲学」Lilly Kanto Branch Special Symposium 特別講演、セルリアンタワー東急ホテル。
240. 木村敏 (2013/12/8) 「感性と悟性の統合としての自己の自己性——超越論的構想力の病理」第 13 回河合臨床哲学シンポジウム、東京大学鉄門記念講堂。

241. 木村敏 (2014/3/15) 「統合失調症について最近考えていること」第9回日本統合失調症学会、京都テルサ。
242. 木村敏 (2014/5/22) 「統合失調症について最近考えていること」精神科治療講演会、ANA クラウンプラザホテル神戸。
243. 木村敏 (2014/7/12) 「統合失調症における自己の障碍」京都大学・稲盛財団共催「京都賞シンポジウム」公開講演、京都大学時計台ホール。
244. 木村敏 (2014/7/13) 「「自己」と「私」の概念をめぐって」京都賞シンポジウム、京都大学時計台ホール。
245. 木村敏 (2014/10/5) 「自他関係における現勢態 (actuality) と潜勢態 (virtuality)」第37回日本精神病理学会、東京芸術大学。
246. 木村敏 (2014/12/14) 「生と死のゲシュタルトクライス」第14回河合臨床哲学シンポジウム、東京大学鉄門記念講堂。
247. 木村敏 (2016/11/5) 「〈こと〉としての生と死」第35回日本医学哲学・倫理学会、兵庫県立大学。
248. 木村敏 (2016年以降) 「京大精神科と私」京大精神科同門会。